

平成26年度 建設局運営方針



鳴瀧橋 (平成25年9月16日 被災直後)



鳴瀧橋(仮橋) (平成25年12月20日 仮橋完成)



京北トンネル (平成25年12月21日 開通)



すざくゆめ広場
梅小路公園に新広場 平成26年3月8日 開園！！



市電ひろば

平成26年4月

京 都 市 建 設 局

目 次

○平成26年度の各重点取組の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 台風18号豪雨災害の早期復旧・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化・・・・・・・・	2
3 都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の成長戦略の推進・・・・・・・・	4
○効率的かつ適切に施策を推進するための取組・・・・・・・・	9
○平成26年度の予算のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・	9
○平成26年度 建設局運営の総括表・・・・・・・・・・・・・・・・	10

はじめに～建設局の重点方針～

昨年9月に本市に甚大な被害を及ぼした台風18号による豪雨や、東日本大震災などの自然災害を踏まえ、公共土木施設の防災機能を強化するため、「いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト」として、橋りょうの耐震補強や老朽化修繕、道路に面する斜面等の防災対策を重点的に推進させるなど、スピード感を持って防災力の向上に取り組めます。

また、施設の維持管理に当たっては、平成24年12月に中央自動車道の笹子トンネルで発生した天井板崩落事故等を教訓として、損傷が激しくなってから対応する「事後保全型」から、損傷が軽微なうちに早期対策を行う「予防保全型」への転換を進めるとともに、施設の長寿命化や計画的な点検等による維持管理の取組を進めるなど、最適な維持管理を推進し、安心安全なまちづくりの強化を図ります。

建設局では、台風18号による豪雨災害を早期に復旧するとともに、災害時の対応を精査のうえ、防災計画を見直すなど、防災・減災対策を着実に進めます。

またこれに加え、環境にやさしく、にぎわいのある歩行空間の整備や魅力的な街並みを創出することにより、「歩くまち・京都」の実現を目指すため、3つの＜重点方針＞を定め、重点的に取り組んでいきます。

これらの取組により、市民や京都に通勤通学される皆様はもとより、京都を訪れる国内外からの多くの観光客やビジネス客の方々が憩い、楽しみ、交流でき、都市の持続的な成長につなげることができるまちづくりを進めます。

【重点方針】

1. 台風18号豪雨災害の早期復旧
2. いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化
3. 都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の成長戦略の推進

○平成26年度の各重点取組の概要

1 台風18号豪雨災害の早期復旧

(1) 小栗栖浸水被害の早期終息

土木管理課

伏見区小栗栖地域における排水機場のポンプ停止による浸水被害の対策については、被害者へ迅速かつ丁寧に対応し、早期の終息に向けて取り組んでいきます。

平成26年度目標

- ・残る被害者の方とも、早期解決を目指し、賠償交渉を進めます。
- ・損害保険会社からの求償にも対応を進めます。

平成25年度実績

- ・平成25年10月28日に小栗栖排水機場周辺地域浸水被害対策チームを設置し、賠償交渉を進め、平成25年度末で251件の示談合意に至った。

(2) 排水機場の安全かつ安定的な管理・運営体制の確立

河川整備課

小栗栖地域の浸水被害を受け、排水機場の管理体制を強化するとともに、遠隔監視により、排水機場をリアルタイムで監視できる集中監視システムの設計を進めます。

平成26年度目標

- ・主要8箇所の排水機場の維持管理計画の推進
- ・10箇所の排水機場の集中監視システムの構築

(3) 有栖川下流右岸流域浸水対策の検討

河川整備課

浸水被害の発生した梅津都市下水路周辺地区において、現地調査及び測量を行い、浸水箇所や原因を把握したうえで、抜本的な浸水対策の立案を行います。

平成26年度目標

- ・具体的な浸水対策の検討

(4) 災害復旧事業の推進

土木管理課、橋りょう健全推進課、各土木事務所

現在、全力で進めている被災した道路、橋りょう、河川等の公共土木施設の復旧について、残る箇所の本復旧工事に着手し、早期の完全復旧を目指します。

平成26年度目標

- ・平成25年度に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法により採択された箇所において、本復旧工事に着手する。
- ・梅雨や台風シーズンに向けて、災害復旧事業のノウハウを共有し、災害に備える。



(5)

台風18号による災害時の対応を教訓とした「建設局防災計画」の見直し

建設総務課

台風18号による災害時の対応を教訓として、より迅速に対応するため、土木事務所職員の招集時間を早めるとともに、本庁・みどり管理事務所からの土木事務所応援体制の強化を図るなど、「建設局防災計画」を見直します。

平成26年度目標

- ・「建設局防災計画」の見直し

2 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化

(1)

「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づく耐震補強・老朽化修繕の推進

橋りょう健全推進課、各土木事務所

災害時の都市機能の確保を図り、平常時の市民生活を守るため、プログラムに基づいた耐震補強を精力的に進めるなど、適切な維持管理を計画的に進めます。

平成26年度目標

- ・耐震補強…15橋（御池大橋（継続）、九条跨線橋（継続）他）
- ・老朽化修繕…21橋（京川橋（継続）、丹波橋 他）

平成25年度実績

- ・耐震補強…18橋（御池大橋、九条跨線橋 他）
- ・老朽化修繕…17橋（上鳥羽橋、京川橋 他）



三栖高架橋 対策前



三栖高架橋 対策後

(2)

道路ストック（トンネル・歩道橋等）の総点検、点検結果に基づく取組の推進

土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、道路明示課、各土木事務所、みどり政策推進室、各みどり管理事務所

更新の時期を迎えている高度成長期に集中的に整備された道路、トンネル、歩道橋、法面等の膨大な道路ストックの安全・安心を確保するため、継続的かつ適切な維持管理を図っていきます。

平成26年度目標

【いのちを守る橋りょう健全化プログラムの推進】（再掲）

【トンネル】

- ・トンネル修繕計画の策定、効率的かつ効果的な修繕の実施

【舗装（継続）】

- ・舗装管理支援システムを運用した維持補修の実施

【公園】

- ・公園施設長寿命化計画の策定
(H26～H27年度にかけて策定)

【通学路を含む生活道路の安全対策（継続）】

- ・引き続き学校関係者、警察、道路管理者が連携し通学路を含む生活道路の安全対策を推進

【路面下空洞調査】

- ・路面下空洞調査路線は大規模地下構造物のある四条通、烏丸通の調査に加え、防災・減災の観点から、緊急輸送道路及び、台風等の影響により空洞化のおそれのある路線についても計画的に調査を実施

平成25年度実績

【排水機場維持補修（耐震改修）、維持管理計画】

- ・主要8箇所の排水機場の維持管理計画の策定

【公園】

- ・遊具を除く公園施設の長寿命化計画の検討（植栽含）

京都市が管理する主な都市基盤施設

- 【道路】・約3,551km（平成25年4月1日現在）
- 【トンネル】・18箇所（平成25年4月1日現在）
- 【河川】・約510km（平成25年4月1日現在）
- 【橋りょう】・2,784橋（平成25年4月1日現在）
- 【公園】・896箇所（平成26年4月1日現在）
- 【排水機場】・34箇所（平成26年4月1日現在）

【通学路を含む生活道路の安全対策】



整備前



整備後

（櫻原山陰街道交差点）

(3) 雨に強いまちづくり推進行動計画の策定

土木管理課，河川整備課

浸水被害の最小化に向け，関係局が融合して総合的な視野に立ち，地域特性に応じた効果的・効率的な対策を進められるよう，具体的な施策等に関する「雨に強いまちづくり」推進計画の行動（実施）計画の検討を進めます。

平成26年度目標

- ・「雨に強いまちづくり推進行動計画」の策定

(4) 「普通河川整備プログラム」に基づく対策の推進

河川整備課，各土木事務所

過去30年間に浸水被害が発生した河川のうち，本格的に対策に着手できていない8つの普通河川を対象に，平成25年10月に策定した「普通河川整備プログラム」に基づき，護岸のかさ上げなど，局所的な対策で治水安全度の向上を図る工事や，抜本的な河川改修を行い，浸水被害を未然に防ぐ対策を行います。

平成26年度目標

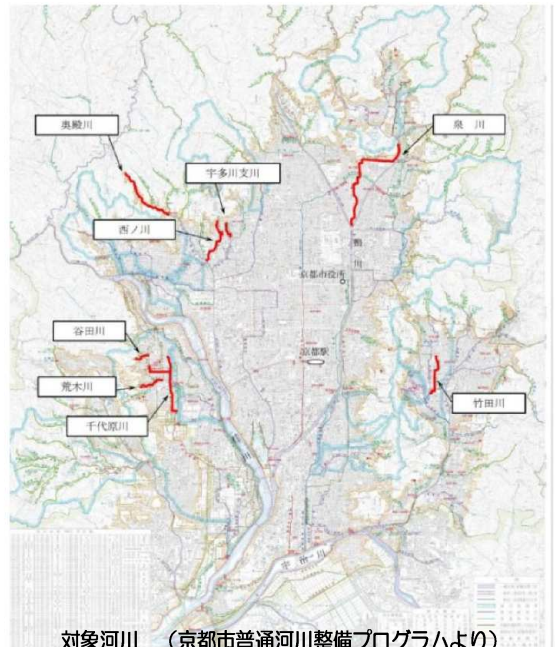
- ・局所的な対策…3河川（宇多川支川，荒木川，谷田川）
- ・河川改修に向けた詳細設計…2河川（竹田川，奥殿川）
- ・治水対策検討設計…3河川（泉川，西ノ川，千代原川）

平成25年度実績

- ・治水安全度調査…普通河川8河川を対象に治水安全度調査を実施
- ・「普通河川整備プログラム」の策定

優先度の判定表（京都市普通河川整備プログラムより）

判定項目	宇多川支川	泉川	竹田川	奥殿川	西ノ川	荒木川	谷田川	千代原川
ア 沿川の浸水履歴	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎
イ 浸水被害の影響	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎
ウ 治水安全度達成率	△	○	○	◎	○	△	△	○
エ 事業効果の発現時期	◎	△	○	○	△	◎	◎	△



対象河川（京都市普通河川整備プログラムより）

(5) 都市基盤河川等の改修（新川など）

河川整備課，各土木事務所

都市化の進展に伴う保水機能の低下や局地的集中豪雨により，浸水等の危険性が高まる中，「京都市河川整備方針」に基づき，環境に配慮し，地域特性を活かした河川改修を進め，浸水被害リスクの軽減を図ります。

平成26年度目標（継続）

- ・西羽束師川，新川，旧安祥寺川，有栖川などの河川改修
- ・第二太田川の治水対策・普通河川改良



新川 整備後

(6) 「事後保全型」から「予防保全型」への転換等，最適な維持管理に関する計画の策定

建設企画課，土木管理課，橋りょう健全推進課，河川整備課，各土木事務所

橋りょうをはじめ，トンネル・舗装・排水機場・公園などの市民生活と密接に結びつく都市基盤施設について，損傷が著しくなってから対応する「事後保全型」から，損傷が軽微なうちに早期対策を行う「予防保全型」への転換を進めるとともに，施設の長寿命化や計画的な点検等による最適な維持管理の取組を進めるため，「京都市公共施設マネジメント基本方針」に基づき，取組施策や事業推進体制を具体化した「京都市公共施設マネジメント基本計画（公共土木施設編）（仮称）」を策定します。

平成26年度目標

- ・「京都市公共施設マネジメント基本計画（公共土木施設編）（仮称）」の策定

3 都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の成長戦略の推進

(1) 魅力ある道路・歩行空間の創造

ア 四条通歩道拡幅

道路環境整備課

四条通（四条大橋東詰～烏丸通）において、車線を4車線から2車線に減らし歩道を拡幅するとともに、バスが走りやすくなる道路に改築し、公共交通の優先化と安心・安全でにぎわいのある歩行空間を創出します。

平成26年度目標

- ・支障物件の移設及び拡幅工事

平成25年度実績

- ・設計の実施，拡幅工事の着手

New! イ 京都駅南口駅前広場整備

道路建設課

本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場において、国際文化観光都市である「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場の整備を推進します。

平成26年度目標

- ・機械式地下駐輪場工事，駅前広場整備工事着手

ウ 京都御苑周辺道路の歩行空間改善

土木管理課，北部土木事務所

温室効果ガスの吸収源である森林の保全・整備を促進し，低炭素社会の実現に貢献するとともに，美しい道路景観を形成するため，京都御苑周辺において市内産の間伐材を活用した転落防止柵の設置やバス停，横断歩道部におけるデッキの設置を行い歩行空間の改善を行います。

平成26年度目標

- ・京都御苑周辺 今出川通転落防止柵

平成25年度実績

- ・京都御苑周辺 デッキ等14箇所



エ 石畳舗装維持修繕

土木管理課，東部土木事務所

景観に配慮すべき地域において，風情を感じさせる趣のある石畳舗装を修繕し，歴史都市・京都にふさわしい魅力ある都市景観の形成を図ります。

平成26年度目標

- ・石畳舗装の修繕…辰巳通 他

平成25年度実績

- ・石畳舗装の修繕…六原経16号線
(宮川町通)



才 無電柱化の推進

道路環境整備課

都市景観の向上や歴史的町並みの景観保全、災害時の輸送路やライフライン及び安全で快適な通行空間の確保等を目的に、電線類の地中化等、道路の無電柱化を推進します。

平成26年度目標

- ・油小路通（小川通）…工事（継続）
- ・無電柱化候補路線検討（継続）

平成25年度実績

- ・京都日吉美山線（愛宕街道）…工事完了
- ・宇多野嵐山山田線他（渡月橋南詰）…工事完了



力 全道路照明灯のLEDへの転換

土木管理課、各土木事務所

道路に設置されている照明灯について、更なる節電・長寿命化・低炭素化を進め、将来的な維持管理費を縮減するため、LED 道路照明灯に転換していきます。

平成26年度目標

- ・新設時に加え、既存の道路照明灯についても順次 LED に転換
水銀灯…約 1,160 灯 市街灯…約 21,000 灯

平成25年度実績

- ・新設道路照明灯に LED の導入、及び既存道路照明灯は、順次 LED へ転換…約 5,400 灯

(2) 花と緑あふれるまちづくりの推進

New! ア 岡崎公園・神宮道の一体的な再整備

建設企画課、みどり政策推進室

左京区岡崎において、神宮道（冷泉通～二条通）を公園に取り込み、一体的に整備することにより、歩いて楽しい岡崎地域の核となる憩いと、新たなにぎわいのある歩行者空間を創出します。

平成26年度目標

- ・実施設計、整備工事



New! イ 名勝円山公園の再整備（修復）に向けた「保存管理計画」の策定

みどり政策推進室

本市の重要な文化遺産である「名勝円山公園」の歴史的環境を保存するとともに、さらに多くの市民や観光客に楽しんでいただくため、「名勝円山公園保存管理計画」を策定し、再整備（修復）及び適切な維持管理を実施していきます。再整備（修復）については、平成32年に開催される東京オリンピックに向け、平成28年度（開園130周年）の着手を目指します。

平成26年度目標

- ・「名勝円山公園保存管理計画」策定検討



ウ 高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり

河川整備課、みどり政策推進室

高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難となっているため、護岸の補修工事を実施します。また、実施に際しては、サクラやヤナギ等の街路樹に配慮した整備を行い、沿川における他事業や地域との連携を強めながら、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指します。

平成26年度目標

- ・改修工事（三条通～車屋橋）

平成25年度実績

- ・改修工事（御池通～三条通）



御池通より南側 整備後



御池通より北側 整備後

エ 緑視環境（ひとの目に見える緑）の充実による緑の満足度の向上

みどり政策推進室

道路の森づくり

街路樹に被われた「道路の森づくり」を目指し、低木植栽のみとなっている既存道路の中央分離帯に新たに高木を植栽します。

花の道づくり

観光地周辺や公園緑地等につながる沿道において、花木の植栽により「緑のネットワーク」を形成し、花木の名所づくりを行います。

桜景観創造プロジェクト

多くの人の目に触れる機会の多い桜並木（街路樹）の保全を図るため、安全確保と沿道景観向上を目的に、寿命を迎えて老朽化したサクラ（ソメイヨシノ等）の植替えを行います。

ケヤキ並木保全・創造プロジェクト

ケヤキ並木主要5路線について専門家による樹勢診断調査結果を踏まえ、老朽化したケヤキの植替えや新規植栽などを行い、ケヤキ並木の保全・創造を目指します。

紅葉景観創造事業

老朽危険木対策、害虫対策、景観対策を目的に既存のスズカケノキを紅葉や花の美しい他の樹種へ転換し、まちなかに潤いのある良好な沿道景観及び緑豊かな空間を創出します。

市民公募型緑化推進事業

まちなかで目にする緑を増やし、緑の豊かさを実感できるよう、市民の皆様からのご意見を基に、都市緑化を推進します。

平成26年度目標

【道路の森づくり】・西大路通、北山通、新城南宮道においてケヤキ他約220本の植栽

【花の道づくり】・紫明通等3路線において高木約80本、低木約16,400株の植栽

【桜景観創造プロジェクト】・琵琶湖疏水沿い（岡崎地区）等で再度樹勢診断調査（約180本）約50本を植替え

【ケヤキ並木保全・創造プロジェクト】・白川通、堀川通、葛野大路通、新林本通、御池通のうち約100本更新及び樹勢回復

【紅葉景観創造事業】・東大路通、西大路通の既存スズカケノキ約140本を紅葉街路樹に植替え

【市民公募型緑化推進事業】・市民意見に基づき、市内各所の緑化事業を実施



【市民公募型緑化推進事業】

(3) 総合的な自転車政策の推進

自転車政策推進室

New! ア 「京都市自転車総合計画」の検証と見直しによる総合的な自転車政策の推進

広範多岐にわたる自転車に関する施策の更なる融合・推進策を検討し、「改訂京都市自転車総合計画」の前半5年間の総括と、今後5年間を見据えた見直しを行うなど、より総合的な自転車政策を強力に推進していきます。

平成26年度目標 ・「改訂京都市自転車総合計画」の検証と見直し

イ 七条通（大宮通～千本通）における自転車通行環境整備

道路環境整備課

歩行者と自転車がお互いに安心・安全に通行できるよう自転車通行環境の整備を進めます。

平成26年度目標 ・七条通工事（継続）

ウ 実証実験による烏丸通の整備手法検討

道路環境整備課

自転車道を整備した場合の有効性と自転車交通や周辺店舗への影響等を調べるため、御池通～四条通で実証実験を行い、烏丸通の整備形態について検討を行います。

平成26年度目標 ・実証実験（御池通～四条通）
・測量（四条通～五条通、七条通～塩小路通）

平成25年度実績 ・整備手法再検討



烏丸通（丸太町通～御池通）

エ 駐輪場整備（京都駅南口・市庁舎前広場）や利用マナー啓発による自転車利用環境の改善

駅や都心部周辺の放置自転車対策として、京都駅南口及び市庁舎前広場に機械式地下駐輪場を整備します。また、自転車利用マナー・ルールの確立に向けた取組を進め、自転車利用環境の改善を図ります。

自転車政策推進室、道路建設課

平成26年度目標

・京都駅南口駐輪場…工事 ・市庁舎前広場駐輪場…設計、工事

平成25年度実績

・京都駅南口駐輪場…JR新幹線への近接施工に伴う影響検討



機械式地下駐輪場（イメージ）

(4) 都市基盤整備の推進

道路建設課

ア 幹線道路ネットワークの整備

活発な人の移動や物流を支え、緊急時の輸送ルートを確保し、また、地震の際の類焼防止等に有効な幹線道路整備を推進し、山間地域と都心のアクセス強化や地域の活性化を目指します。

平成26年度目標

・京都広河原美山線（二ノ瀬トンネル）…供用
・大山崎大枝線…完成
・梅津太秦線…拡幅完成
・羽束師橋関連道路（桂川右岸堤防）…供用

平成25年度実績

・国道162号（京北トンネル）…完成、供用
・伏見向日町線（東工区）…供用



西陣杉坂線（釈迦谷工区）

- ・西陣杉坂線（釈迦谷工区）…供用
- ・小塩山大原野線…完成，供用
- ・西小路通…完成，供用
- ・市道小川通…完成，供用



国道 162 号（京北トンネル）



小塩山大原野線

イ 鉄道の立体交差化の推進

道路建設課

鉄道の高架化により踏切を無くし，交通混雑の解消，安全性の向上，側道による生活環境保全及び新たな生活導線の確保等，地域の課題を解決し，鉄道によって分断された地域の活性化を図ります。

平成26年度目標

- ・阪急京都線連続立体交差化事業
（洛西口駅付近）…下り線高架化工事の推進

平成25年度実績

- ・阪急京都線連続立体交差化事業
（洛西口駅付近）…上り線高架化切り替え
- ・京阪本線高架化事業
（淀駅付近）…鉄道工事完了，駅前広場，側道完成



京阪本線淀駅 駅前広場



阪急京都線連続立体交差化事業

ウ 市街地の面的整備

市街地整備課，整備推進課，南部区画整理事務所

市街地の公共施設と宅地を一体的，総合的に整備するため，土地区画整理事業を推進します。

平成26年度目標

- ・洛北第二地区
…換地処分
- ・上鳥羽南部地区
…公共施設整備完了
- ・伏見西部第三，第四地区
…移転補償，道路工事等
- ・伏見西部第五地区
…事業計画変更，水路改修工事等

平成25年度実績

- ・洛北第二地区
…換地処分に向けた手続き
- ・上鳥羽南部地区
…移転補償，道路工事等
- ・伏見西部第三，第四地区
…移転補償，道路工事等
- ・伏見西部第五地区
…事業計画見直し，水路改修工事等



横大路淀線
（伏見西部第四地区）

○効率的かつ適切に施策を推進するための取組

重点方針に掲げたこれらの施策を着実に進めるため、組織改正を行い効率的な執行体制の充実を図るとともに、適切に業務に取り組むため、コンプライアンスの推進を図ります。

New!

組織改正による執行体制の充実

(1) 河川と排水機場の一元的な治水対策事業を推進する体制の構築

昨年9月に発生した台風18号による災害からの教訓を踏まえ、河川の整備、維持管理に関する事務と排水機場をはじめとした施設、設備の維持管理に関する事務を一元的に行うため、「土木管理部」に「河川整備課」を移管し、体制の充実を図ります。

(2) 橋りょうの健全化を推進する体制の構築

災害時における避難ルートの確保や救援車両等の通行の確保に向け、土木管理部に「橋りょう健全推進課」を設置し、橋りょうの耐震補修及び老朽化修繕に効果的かつスピード感を持って取り組みます。

(3) 総合的な自転車政策を推進する体制の構築

自転車の安心安全な走行環境の整備や放置自転車、駐輪場の整備、環境にやさしいライフスタイルへの転換、観光分野での活用、走行マナーの向上や啓発など「京都市自転車総合計画」に掲げる施策を強力に推進するため、「自転車政策推進室」を設置するとともに自転車に関する政策の融合・推進を図るための調査、研究及び企画を行うため、庁内横断的な体制として「自転車政策推進プロジェクトチーム」を設置します。

New!

適切な業務の執行に係る取組

建設局では、「コンプライアンス推進指針」のもと、法令遵守の意識を徹底し、創造的かつ主体的に業務を遂行することを、職員の一人ひとりの共通認識として実践し、組織文化として根付かせていくため、以下の取組を推進します。

(1) 建設局“きょうかん”推進委員会の活性化

建設局“きょうかん”推進委員会を中心に、コンプライアンスや職員倫理の向上に係る事項等について、情報の共有化を図り、局内の意志疎通を迅速に行います。

(2) 風通しのよい職場づくり

昨年9月に強化した局の監察体制の下で、服務規律の遵守や適正な業務執行に向けた指導を徹底するなど、不祥事を起こさない風通しのよい職場づくりを進めます。

(3) 建設局技術研修の充実

建設局技術研修において、技術力を高める研修に加えて、入札・契約制度や工事等の品質確保に関する研修を実施するなど、発注者として説明責任を十分に果たす能力やマネジメント能力などの向上に取り組み、公共事業の適切な執行の確保を図ります。

○平成26年度の予算のポイント

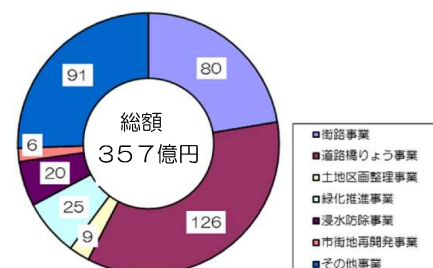
【予算の特徴】

平成26年度の建設局当初予算は、一般会計で357億円となっています。市民の安心・安全を守るため、防災対策関連事業をはじめ、道路や街路樹、公園、河川などの維持管理に重点を置いた予算を確保しています。

【重要取組・主な事業予算】

市庁舎前広場における機械式地下駐輪場の整備	1億3,880万円
道路維持補修	37億2,692万円
歩いて楽しいまちなかゾーンの推進	4,050万円
無電柱化事業	3億6,720万円
いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト	39億9,681万円
岡崎地域活性化ビジョンの推進	1億8,580万円
～左京区岡崎における神宮道と公園の再整備～	
京都駅南口駅前広場の整備（八条通）	14億4,100万円
「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進	24億4,300万円
花と緑あふれるまちづくり	
～緑視環境向上プロジェクト～	
名勝円山公園保存管理計画策定	4億6,400万円
	320万円

平成26年度 建設局当初予算



○平成26年度 建設局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成26年度 重点取組				
	取組名		目標	計画・条例等	所属等
1 台風18号豪雨災害の早期復旧	(1)	小栗栖浸水被害の早期終息	・残る被害者の方とも、早期解決をめざし、賠償交渉を進めます。・損害保険会社からの求償にも対応を進めます。	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	土木管理課
	(2)	排水機場の安全かつ安定的な管理・運営体制の確立	・主要8箇所の排水機場の維持管理計画の推進・10箇所の排水機場の集中監視システムの構築	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	河川整備課
	(3)	有栖川下流右岸流域浸水対策の検討	・具体的な浸水対策の検討	京都市河川整備方針、京都市水共生プラン、雨に強いまちづくり推進計画	河川整備課
	(4)	災害復旧事業の推進	・平成25年度に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法により採択された箇所において、本復旧工事に着手する。・梅雨や台風に向けて、災害復旧事業のノウハウを共有し、災害に備える。	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	土木管理課、橋りょう健全推進課、各土木事務所
	(5)	台風18号による災害時の対応を教訓とした「建設局防災計画」の見直し	・「建設局防災計画」の見直し	京都市地域防災計画	建設総務課
2 いのちと暮らしを守る防災・減災対策の充実・強化	(1)	「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づく耐震補強・老朽化修繕の推進	・耐震補強…15橋（御池大橋（継続）、九条跨線橋（継続）他）・老朽化修繕…21橋（京川橋（継続）、丹波橋 他）	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	橋りょう健全推進課、各土木事務所
	(2)	道路ストック（トンネル・歩道橋等）の総点検、点検結果に基づく取組の推進	・「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づく耐震補強、老朽化修繕・トンネル修繕計画を策定し、効率的かつ効果的な修繕の実施・舗装管理支援システムを運用した維持補修の実施・公園施設長寿命化計画の策定（H26～H27年度にかけて策定）・通学路を含む生活道路の安全対策（継続）・路面空洞調査	京都市地域防災計画、京都市の防災対策総点検	土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、道路河川管理課、道路明示課、各土木事務所、みどりの政策推進室、各みどりの管理事務所
	(3)	雨に強いまちづくり推進行動計画の策定	・「雨に強いまちづくり推進行動計画」の策定	雨に強いまちづくり推進計画	土木管理課、河川整備課
	(4)	「普通河川整備プログラム」に基づく対策の推進	・局所的な対策…3河川（宇多川・支川、荒木川、谷田川）・河川改修に向けた詳細設計…2河川（竹田川、奥殿川）・治水対策検討設計…3河川（泉川、西ノ川、千代原川）	京都市河川整備方針	河川整備課、各土木事務所
	(5)	都市基盤河川等の改修（新川など）	・西羽束師川、新川、旧安祥寺川、有栖川などの河川改修・第二太田川の治水対策・普通河川改良	京都市地域防災計画、京都市水共生プラン、京都市河川整備方針	河川整備課、各土木事務所
	(6)	「事後保全型」から「予防保全型」への転換等、最適な維持管理に関する計画の策定	・「京都市公共施設マネジメント基本計画（公共土木施設編）（仮称）」の策定	・京都市公共施設マネジメント基本方針	建設企画課、土木管理課、橋りょう健全推進課、河川整備課、各土木事務所
3 都市基盤の強化とまちの魅力向上による京都の成長戦略の推進	(1)	ア 四条通歩道拡幅	・支障物件の移設及び拡幅工事	「歩くまち・京都」総合交通戦略	道路環境整備課
		イ 京都駅南口駅前広場整備	・機械式地下駐輪場工事、駅前広場整備工事着手	「歩くまち・京都」総合交通戦略	道路建設課
		ウ 京都御苑周辺道路の歩行空間改善	・京都御苑周辺（今川通転落防止柵）	京都市環境モデル都市行動計画	土木管理課、北部土木事務所
		エ 石畳舗装維持修繕	・石畳舗装の修繕…辰巳通他	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画	土木管理課、東部土木事務所
		オ 無電柱化の推進	・油小路通（小川通）…工事（継続） ・無電柱化候補路線検討（継続）	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画	道路環境整備課
		カ 全道路照明灯のLEDへの転換	・新設時に加え、既存の道路照明灯についても順次LEDに転換 水銀灯…約1,160灯 市街灯…約21,000灯	京都市役所CO2削減率先実行計画	土木管理課、各土木事務所
	(2)	ア 岡崎公園・神宮道の一体的な再整備	・実施設計、整備工事	「歩くまち・京都」総合交通戦略	建設企画課、みどりの政策推進室
		イ 名勝円山公園の再整備（修復）に向けた「保存管理計画」の策定	・「名勝円山公園保存管理計画」策定検討	京都市緑の基本計画	みどりの政策推進室
		ウ 高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	・改修工事（三条通～車屋橋）	京都市水共生プラン、京都市河川整備方針	河川整備課、みどりの政策推進室
		エ 緑視環境（ひとの目に見える緑）の充実による緑の満足度の向上（道路の森づくり、花造プロジェクト、桜景観創造プロジェクト、グランド木保全・創造プロジェクト、紅葉景観創造事業、市民公募型緑化推進事業）	・西大路通、北山通、新城南宮道においてケヤキ他約220本の植栽 ・紫明通等3路線において高木約80本、低木約16,400本の植栽 ・琵琶湖疏水沿い（岡崎地区）等で再度樹勢診断調査（約180本）約50本を植替え ・白川通、堀川通、葛野大路通、新林本通、御池通のうち約100本更新及び樹勢回復 ・東大路通、西大路通の既存スズカケノキ約140本を紅葉街路樹に植替え ・市民意見に基づき、市内各所の緑化事業を実施	京都市緑の基本計画	みどりの政策推進室
	(3)	ア 「京都市自転車総合計画」の検証と見直しによる総合的な自転車政策の推進	・「改訂京都市自転車総合計画」の検証と見直し	改訂京都市自転車総合計画	自転車政策推進室
		イ 七条通（大宮通～千本通）における自転車通行環境整備	・七条通工事（継続）	改訂京都市自転車総合計画、自転車通行環境整備プログラム	道路環境整備課
		ウ 実証実験による烏丸通の整備手法検討	・実証実験（御池通～四条通） ・測量（四条通～五条通、七条通～堀小路通）	改訂京都市自転車総合計画、自転車通行環境整備プログラム	道路環境整備課
		エ 駐輪場整備（京都駅南口・市庁舎前広場）や利用マナー啓発による自転車利用環境の改善	・京都駅南口駐輪場…工事 ・市庁舎前広場駐輪場…設計、工事	「歩くまち・京都」総合交通戦略	自転車政策推進室、道路建設課
	(4)	ア 幹線道路ネットワークの整備	・京都広河原美山線（二ノ瀬トンネル）…供用・大山崎大枝線…完成・梅津太秦線…拡幅完成・羽束師橋関通道路（桂川右岸堤防）…供用	京都市地域防災計画	道路建設課
		イ 鉄道の立体交差化の推進	・阪急京都線連続立体交差化事業（洛西口駅付近）…下り線高架化工事の推進	第9次京都市交通安全計画	道路建設課
		ウ 市街地の面的整備	・洛北第二地区…換地処分・上烏羽南部地区…公共施設整備完了・伏見西部第三、第四地区…移転補償、道路工事等・伏見西部第五地区…事業計画変更、水路改修工事等	京都市地域防災計画	市街地整備課、整備推進課、南部区画整理事務所

建設局各課お問い合わせ先

建設企画部

建設総務課：222-3545，建設企画課：222-3551，監理検査課：222-3548

土木管理部

土木管理課：222-3568，橋りょう健全推進課：222-3568，河川整備課：222-3591

道路河川管理課：222-3564，道路明示課：222-3566

北部土木事務所：492-3111，左京土木事務所：791-9134，京北・左京山間部土木事務所：852-1819

東部土木事務所：591-0013，南部土木事務所：691-3158，西部土木事務所：871-6721

西京土木事務所：392-9260，伏見土木事務所：611-5371

自転車政策推進室：222-3565

道路建設部

道路建設課：222-3577，道路環境整備課：222-3570，用地課：213-3450

みどり政策推進室：222-3589

北部みどり管理事務所：882-7019，南部みどり管理事務所：643-5405

都市整備部

市街地整備課：213-3537，整備推進課：252-6871，南部区画整理事務所：601-6181

平成26年度 建設局運営方針

平成26年4月

京都市建設局建設企画部建設企画課

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/79-8-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

